

■エッセイ

平成20年度を迎えて

館長 海 妻 矩 彦 (かいづま のりひこ)

年月が経つのは誠に早いもので、今年
は平成元年生れの若者たちが成人になり
ました。これからは「平成」時代になり
ます。この時代がどのような時代になっ
ていくのか、それを今から予測するのは
早すぎますが、波乱動乱が相継ぐ中、戦
争による大打撃を受け、危うく国の存在
さえ失いかけた「昭和」時代の再現だ
けは御免です。今の日本国が自ら進んで
他国を侵略するような無謀なことをやる
ことはないと思いますが、日本国の都合
だけで世界が動くという時代ではないの
で、よほど日本国民がしっかりしていな
いと他国の思惑で日本国が勝手に利用さ
れてしまう危険は「平成」時代の方が「昭
和」時代より高まっていると思います。
このような時代背景の中で、「平成」時代
を良い時代にするためにはどうすれば良
いのか、今年はそのことを考え始める年
にしたいと思っています。

それにはどうするのが良いのでしょうか。
私は国民の一人ひとりが物事に対して
関心を持ち、意見を述べ合って相互理
解を進めながら、事を進めて行くとい
う習慣を持つということだと思います。し
かし、こういうことが最も難しいことも
明らかであり、「平成」時代の日本人の理
想像と言って良いでしょう。「昭和」時
代の日本人の考え方は、自分の周辺の人
たち（特に有力者）の意向を探って、そ
の意向に添うように行動するのが最も無
難で得策だとする考え方が一般的なもの
だったと思います。これは、今のように
国際化が進んで国というレベルを超えた
複雑多岐に渡っての人々の行動が常時行
われるようになると、上で述べたような
「昭和」時代の日本人の考え方では、明
らかに時代から取り残されてしまうこと
になるでしょう。あらゆる場面で、自分
自身の考え方に基づいた独自の意見や行

動が決まるよう心掛けることが大切だ
と思っております。

さて、そういう自己確立が根底におい
て求められるに到った「平成」時代にお
いては、岩手県立博物館の進むべき道や
その目標を明らかにし、そのことをどの
ように実現すべきかを示した計画や方法
をできる限り詳細に文書化することが必
要だと考えています。それには、県立博
物館は、県民のためにどのような活動を
するところかを明示した「使命書」、そ
の使命をどのような博物館活動を展開し
て達成するかを述べている「経営計画
書」、この経営計画をどのような年次計画
で段階的に実現に移すかを明らかにする
一方、年次の途中や計画の完了後におい
て、計画達成度などの点検や評価に役立
つ「中期計画書」の3つの文書を作成す
ることが先ず求められるべきでしょう。

当館では、平成19年度に実施した全
事業（展示活動、資料収集活動等の学芸
部門の活動）について、一つひとつ点検
評価したのち、それらの結果を分析し、
総合して上述した3つの文書としてま
とめ上げました。私はこれらの文書の内
容もさることながら、文書化したものが
作成されたということが何よりも重要な
ことだったと考えています。これまでに
おいても各年度の全事業の点検や評価は
行われていましたが、先に述べたよう
な文書化の目的や内容を異にする3つの
文書としてまとめられたものは、これま
でになかったと思います。これらの文書
は、まだ完成品ではないので、今後さら
により良いものへと表現の仕方や取り入
れるべき事柄の取捨選択が行われること
でしょう。これらの3つの文書は、まだ
当館の学芸部門の中で検討中のものとし
て作成されたばかりですので、一般には
公開されておりません。県の教育委員会



の意見なども求めてから一般公開するの
が妥当と思っております。

ともあれ、これら3つの文書が成文化
されたということは繰り返し言うよう
に、非常に意義深いことで、今後の当館
の学芸部門の事業発展に役立つと確信し
ていますが、それにしても何故文書化が
必要になったかということ、最後に少
し考えてみたいと思います。

これは、博物館事業の一部に指定管理
者制度が導入されたということが、文書
化の促進の要因になったのではないかと
いうのが私の考えです。当館の博物館事
業は、展示活動等を指す学芸部門と建物
の維持等を指す管理部門の2つに大別
されますが、管理部門の事業のみ、必要
があれば民間も含む指定管理者に部門
の事業を全面的に委任できます。当館では
（財）岩手県文化振興事業団が指定管理者と
なり、管理部門を委託しています（平成
18年度より）。そのため、これら2つの
部門の間でそれぞれの担当事業の目的や
計画などを互いに理解しておく必要が生
じたことが、各部門の事業の文書化を促
進したと思います。そういう意味では指
定管理者制度の導入もプラス面があった
と言えるかもしれません。